

# 第99回全国高等学校野球選手権長崎大会

野球部夏の大会の報告です。



## <1回戦 (対 国見高校) 7月11日 (火) (於) 佐世保市総合グラウンド野球場>



雨が続き、せつかくの全校応援が雨天のために延期になり、結局翌日に勝利を手にすることができなかった昨年度の苦い経験が蘇りましたが、今年は皆さんの熱い想いが天に届き、雨雲を吹き飛ばしてくれました。初回表、二死から道脇の四球、相川評の安打でランナー1・2塁とし、続く豊永が二塁打を放ち2点を先取しました。

3回表には、道脇のタイムリーや鰐口の犠牲フライなどで一挙3点を追加し、9回表には、さらにダメ押しとなる2点を加え、7-1で勝利しました。初回裏、立ち上がりに連続四球などで1点を与えたエースの鰐口ですが、3回以降は7個の三振を取るなど危なげのないピッチングで見事に9回を投げ切りました。対戦相手の国見高校には最近の練習試合で2敗していただけに、夏の大会における久しぶりのこの1勝はチームとしては非常に嬉しいものでした。



ピッチャー鰐口君



キャプテン豊永君  
さあ 先制点!



1回戦 勝利の瞬間。  
校歌を歌います。



昨年の分まで全校応援  
できました。リーダーが  
中心になり、黒潮校歌も  
完璧!!



## <2回戦 (対 瓊浦高校) 7月14日 (金) (於) 長崎県営野球場>

結果的に大差で1回戦を突破することができましたが、2回戦の対戦相手である瓊浦高校は、1回戦で強打の佐世保工業高校打線を抑え、終盤に大量得点を挙げて勝ち上がった

強豪なので、気を引き締めて試合に臨みました。試合の方は初回から両校のエースの好投が続き、息の詰まるような投手戦になりました。両校無得点で迎えた5回裏の攻撃は、ヒットと四球などで一死満塁の先制のチャンス。ここが最大の山場でしたが、残念ながらタイムリーが出ず得点を挙げるできませんでした。その直後の6回表、二死ランナー1・3塁の場面。1塁ランナーが盗塁し1・2塁間で挟まれているその隙に、3塁ランナーがホームイン。一瞬、何が起こったか理解できませんでした。狐につままれた感じでしたが、それでもスコアボードには大きく1点が表示されていました。結局、この1点が最後まで響き、反撃を試みましたが追いつくことができず、0-1で敗れ3回戦に進むことができませんでした。

非常に悔しい想いを残して、西彼杵高校野球部の夏は終わりました。負けは負けですが、全力を出し切って戦ったと思います。1回戦、2回戦を完投した鰐口は勿論のこと、打線の爆発は見られなかったものの、2試合ともにノーエラーで守り切った全員の守備は高く評価できるものでした。昨年の秋の大会でのベスト8進出をきっかけに、より逞しいチームを目指して練習に励んできた野球部ですが、今後も大きく成長したいと思います。皆さん本当に応援ありがとうございました。

また、6月、本校OB中場義則様（東京在住）より野球部へご芳志を賜りましたので、この紙面を借りてお礼を申し上げます。ありがとうございました。

